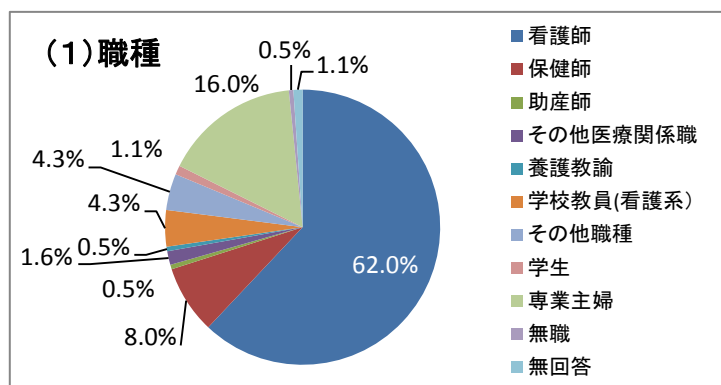


卒業生アンケート 回答集計結果【短期大学】

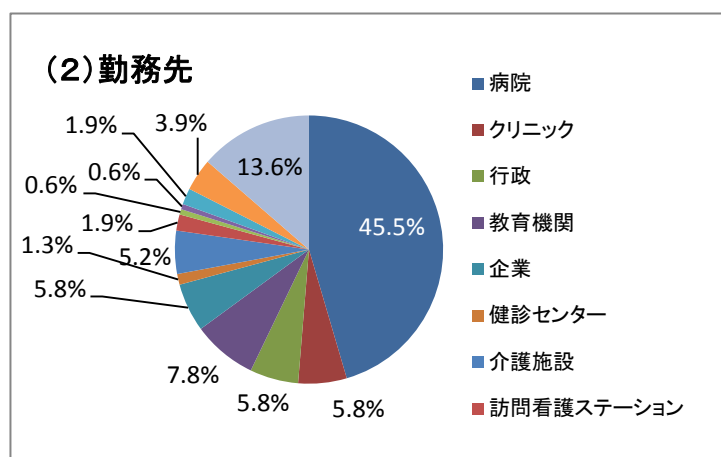
1. アンケート回答状況

回答数 187通/送付アンケート数 935通（回答数 20%）
（宛先不明で返送されたアンケート数 162通）

2. 現在の職業等について

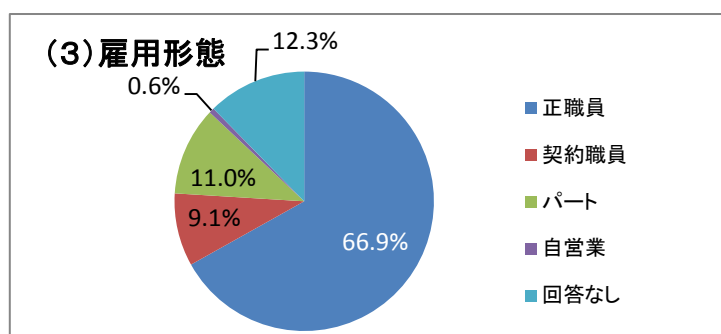


N=187	
看護師	116
保健師	15
助産師	1
その他医療関係職	3
養護教諭	1
学校教員(看護系)	8
その他職種	8
学生	2
専業主婦	30
無職	1
無回答	2



N=154	
病院	70
クリニック	9
行政	9
教育機関	12
企業	9
健診センター	2
介護施設	8
訪問看護ステーション	3
赤十字支部、血液センター	3
心身障害者コロニー	1
社会福祉協議会	1
その他	6
無回答	21

※(1)で学生、専業主婦及び無職と回答した数(33名)の回答を除く
◇29名(18.8%)が病院、支部、血液センターなどの赤十字関係施設で活躍。



N=154	
正職員	103
契約職員	14
パート	17
自営業	1
無回答	19

※(1)で学生、専業主婦及び無職と回答した数(33名)の回答を除く

3. リカレント教育に対する主なご意見 <一部抜粋・要約>

(1) 教育内容に関するニーズ

○最新の情報

- ・新しい知識や管理に対しての講座等
- ・新しい理論や情報を知る機会

○看護研究

- ・臨床における看護研究支援など

○フィジカルアセスメント

○資格取得支援

- ・資格等のステップアップ

○職場復帰支援

- ・潜在マンパワーを活かすため、技術・知識について学ぶ場を提供してほしい。
- ・復職研修や、その他いろいろな研修をもっと外部の人も受けやすくしてほしい

○その他

- ・基礎知識のフォローアップ
- ・コミュニケーション研修
- ・国際保健、災害看護・災害救護
- ・学校保健、精神保健、メンタルヘルス
- ・介護保険や褥瘡ケア
- ・看護理論家やある分野における第一人者の方の講演
- ・医療通訳
- ・産業看護
- ・アカデミックでユニークな視点での教育
- ・障害者の現状
- ・キャリアアップへの相談や人事交流
- ・看護診断、看護理論、災害看護、在宅看護、福祉、倫理的問題（延命、死生観）、看護教育、現在の看護師全体の課題や医療の問題点

(2) 教育方法に関するニーズ

- ・公開講座、オープン講義やワークショップ
- ・学費、利便性。土曜日開講、休日（日曜日）開講
- ・余裕をもって勉強できる教育カリキュラム
- ・短期コースや通信制、一日単位の研修

(3) その他

- ・卒業生でも学べる場があればいい
- ・人間本来の持つ力を引き出せるようなPtに希望を与えられる医療者であってほしいと思う。そういう教育をしてほしい。
- ・大学卒業後の教育制度があること自体を知らなかった。

4. その他自由記載内容 <一部抜粋・要約>

- ・看護職として復帰したいがブランクが長いと怖い。
- ・慢性看護分野で教育を受けたい。
- ・20年前の看護知識と現在必要とされる知識に違いがあるので復帰にためらいを感じる。
- ・学びの場で力を貸して頂きたい時に門が広く開いているとありがたい。
- ・研修など低価格でやってもらえると参加しやすい。
- ・学習会などで日赤に関わっていきたい
- ・学びなおしたい気持ちはあるが困難。いろいろなバージョンがあると幅広い方々が学びなおせるチャンスが広がる。
- ・学位をとりたい時の情報が欲しい。
- ・学校では看護の本質の部分を教育してほしい。
- ・臨床に沿った内容の教育を、現場の看護師がもっと手軽に（金銭面、時間）受けられるようになるといい。
- ・大学ホームページからキャリア支援へメールで相談したが、あまり親身に相談にのってもらえないことがあった。